

## 日本の記録映画特集—戦後篇

劇映画とならんで、大きな比重を占める記録映画の価値は計り知れぬものがあります。当フィルムセンターでは、一昨年に「日本の記録映画—戦前篇」を特集して、明治・大正・昭和にわたる歴史的、文化的に重要な作品を紹介上映いたしました。今回はその続篇として「日本の記録映画—戦後篇」を企画開催することになりました。

選ばれた作品は、戦後の各年代においてそれぞれ深い意義を持つものがありますので、映画愛好者はもとより、広く各分野における研究者にとっても見逃し得ない好機会と存じますので、御鑑賞をおすすめいたします。

1974年7月8日～8月23日  
日曜・祝日休館

午後3時・6時15分開映  
一般100円・学生70円・小人50円

フィルムセンター

期 日	昼 の 部	夜 の 部
7月8日(月)	[番組1] 太平洋戦争	[番組2] 立ち上がれるか日本(日本ニュース) こども議会、ムクの木の話(丸山章治) 登呂(小山鶴郎)
9日(火)	[番組2]	[番組1]
10日(水)	[番組3] 霜の花(中谷宇吉郎), 世紀の判決(日本ニュース) フジヤマの飛魚(日映), 生きているパン(奥山大六郎)	[番組4] 蠅のいない町(吉野馨治), 美の殿堂(下村健二), 中尊寺 (高木俊郎), 火山三原山(竹内信次), 原爆の図(今井正) 1952年メーデー(製作委)
11日(木)	[番組4]	[番組3]
12日(金)	[番組5] 北斎(勅使河原宏), 新風土記—北陸(柳沢寿男) 雪まつり(羽仁進), 雪ふみ(道林一郎)	[番組6] 月の輪古墳(荒井英郎), 栗野村(丸山章治), 芦沼(岡部久) かえるの発生(吉田六郎)
15日(月)	[番組6]	[番組5]
16日(火)	[番組7] 佐久間ダム—総集編(高村武次)	[番組8] ひとりの母の記録(京極高英), 教室の子供たち(羽仁進)
17日(水)	[番組8]	[番組7]
18日(木)	[番組9] 日鋼室蘭(菅家陳彦), 流血の記録・砂川(亀井文夫) 生きていてよかった(亀井文夫)	[番組10] カラコルム(林田重男・中村誠二)
19日(金)	[番組10]	[番組9]
22日(月)	[番組11] 絵を描く子供たち(羽仁進), 九十九里浜の子供たち (豊田敬太), 桂離宮(栗林実), 声なき斗い(三井プロ)	[番組12] マナスルに立つ(依田孝喜)
23日(火)	[番組12]	[番組11]
24日(水)	[番組13] 富士は生きている(下村兼史), 黒部峡谷(西尾善介) おふくろのバス旅行(菅家陳彦)	[番組14] 世界は恐怖する(亀井文夫)
25日(木)	[番組14]	[番組13]
26日(金)	[番組15] 遭難—谷川岳の記録(高村武次), ミクロの世界(大沼鉄郎) 法隆寺(羽仁進)	[番組16] 富士(赤佐政治)
29日(月)	[番組16]	[番組15]
30日(火)	[番組17] 地底の凱歌(西尾善介), 忘れられた土地(野田真吉)	[番組18] 大自然にはばたく(古賀聖人)
31日(水)	[番組18]	[番組17]
8月1日(木)	[番組19] 海壁(黒木和雄), うわさはひろがる(岩切喜久男) 刈干切り唄(上野耕三)	[番組20] 秘境ヒマラヤ(大森栄・中村正)
2日(金)	[番組20]	[番組19]
5日(月)	[番組21] 人間みな兄弟(亀井文夫), 安保条約(松本俊夫)	[番組22] マリン・スノー(小林米作・野田真吉・大沼鉄郎), 黒潮丸 (土屋信篤), 横山大観(秋元憲), メダカの卵(渥美輝男)
6日(火)	[番組22]	[番組21]
7日(水)	[番組23] 山かげに生きる人たち(青山通春), 日本の民家(赤佐政治)	[番組24] 巨船ネス・サブリン(楠木徳男), 女王蜂の神秘(樋口源一郎) 特別天然記念物・尾瀬(石川茂樹)
8日(木)	[番組24]	[番組23]
9日(金)	[番組25] 流水の町(菅家陳彦) 奈良・京都—私たちの修学旅行(佐藤武)	[番組26] 西陣(松本俊夫), わが愛北海道(黒木和雄) ある機関助士(土本典昭)
12日(月)	[番組26]	[番組25]
13日(火)	[番組27] 森林—北海道の国有林(岩佐氏寿) 若戸大橋(秋元憲)	[番組28] 銀行に生きる(田中実), あるマラソンランナーの記録 (黒木和雄)
14日(水)	[番組28]	[番組27]
15日(木)	[番組29] 首都東京(上野耕三), 石川の四季(赤佐政治)	[番組30] 或る出版社50年(羽仁進), 日本のさけます(稲葉直)
16日(金)	[番組30]	[番組29]
19日(月)	[番組31] チョンリマ(宮島義勇)	[番組32] 魚群アフリカを行く(田中実), 和菓子(米内義人) 68の車輪(森田実)
20日(火)	[番組32]	[番組31]
21日(水)	[番組33] 路上(土本典昭), 留学生チュアスイリン(土本典昭)	[番組34] パルスの世界(渡辺正己), 生命の誕生(渡辺正己) 美しい国土(山添哲)
22日(木)	[番組34]	[番組33]
23日(金)	[番組35] 東京オリンピック(市川崑)	[番組35]

## 土曜特集：映画史上の名作

当フィルムセンターでは、このたび新たな試みとして毎週土曜日に限って、映画史上の名作、秀作として位置づけられて  
いる作品を上映し、広く映画愛好者の御要望にこたえることといたしました。

開映時間、料金は平常と同じでございますので、この機会を御利用、御鑑賞下さいますことをおすすめいたします。

フィルムセンター

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演
7月13日(土)	巴里祭	仏・1933年	ルネ・クレール	アナベラ, ジュルジュ・リゴー, レーモン・コルディ, ポーラ・イレリ
20日(土)	アレクサンドル・ネフスキー	ソ・1938年	S. M. Эйзенシュテイン	ニコライ・チュルカーソフ, ニコライ・オフロプコフ, アレクサンドル・アブリコソフ
27日(土)	赤西蛸太	日・1936年	伊丹万作	片岡千恵蔵, 梅村容子, 杉山昌三九, 志村喬
8月3日(土)	西鶴一代女	日・1952年	溝口健二	田中絹代, 三船敏郎, 山根寿子, 菅井一郎, 浜田百合子
10日(土)	レベッカ	米・1940年	アルフレッド・ヒッチコック	ローレンス・オリヴィエ, ジョーン・フォンティーン, アグネス・ムーアヘッド
17日(土)	白痴	日・1951年	黒沢明	原節子, 森雅之, 三船敏郎, 久我美子, 東山千栄子
24日(土)	イントレランス(無声)	米・1916年	D. W. グリフィス	メー・マーシュ, ロバート・ハロン, コンスタンス・タルマッジほか
30日(土)	百万両の壺	日・1935年	山中貞雄	大河内伝次郎, 喜代三, 沢村国太郎, 花井蘭子

東京国立近代美術館フィルムセンター 中央区京橋3-11 地下鉄・京橋、宝町下車徒歩1分 TEL(561)0823

\* 竹橋本館：7月14日まで「徳岡神泉遺作展」

7月16日～9月1日まで「15人の写真家」展

# 監督研究—清水宏と石田民三

ともすれば映画史から忘れられ、すぐれた作品を創造しながらもその業績が不当に埋もれて行く映画作家があります。抒情と感傷と童心の世界を追求した清水宏、恥美と詠嘆と懐古の世界に傾身した石田民三の両監督は、まさに上述した作家群の代表者ともいえますが、この両氏の作品を通じて溢れ流れる日本の情念は、今日の視点にたっても十分に再評価されるべきものを持っております。

当フィルムセンターでは、今は亡きこの両監督の作風を偲ぶにふさわしい作品を選んで、ここに「監督研究—清水宏と石田民三」を開催することとなりました。ひろく映画愛好者の御利用御鑑賞をおすすめいたします。

1974年8月28日～10月25日  
日曜・祝日休館

午後3時・6時15分開映  
一般100円・学生70円・小人50円

期 日	曜 日	題 名	製作年	製 作 会 社	出 演
《清水宏監督特集》					
8月28・29日	水・木	不壊の白珠(無声)	1929年	松 竹	八雲恵美子、及川道子、高田稔、新井淳
30日、9月2日	金・月	大学の若旦那	1933年	〃	藤井貞、徳大寺伸、光川京子
9月3・4日	火・水	有りがたうさん	1936年	〃	上原謙、桑野道子、筑地まゆみ、和田登志子
5・6日	木・金	花形選手	1937年	〃	佐野周二、笠智衆、水戸光子、大山健二
9・10日	月・火	風の中の子供	〃	〃	河村黎吉、吉川満子、葉山正雄、爆弾小僧
11日	水	按摩と女	1938年	〃	高峰三枝子、徳大寺伸、日守新一
12・13日	木・金	子供の四季	1939年	〃	河村黎吉、坂本武、葉山正雄、爆弾小僧
17日	火	{京城(短篇) {信子	1940年	〃	記録映画
18・19日	水・木	みかへのり塔	1941年	〃	高峰三枝子、三浦光子、飯田蝶子、岡村文子
20日	金	歌女おぼえ書	〃	〃	笠智衆、日守新一、吉川満子、若水絹子
24日	火	{団栗と椎の実(短篇) {簪(かんざし)	〃	〃	水谷八重子、藤野秀夫、上原謙、河村黎吉
25日	水	サヨンの鐘	1943年	〃	大塚紀夫、横山準、大山健二、若水絹子
26・27日	木・金	蜂の巣の子供たち	1948年	蜂の巣プロ	田中絹代、川崎弘子、斎藤達雄、笠智衆
30日	月	小原庄助さん	1949年	新東宝	李香蘭、島崎滉、近衛敏明
10月1・2日	火・水	その後の蜂の巣の子供達	1951年	清水プロ	島村修作、夏木雅子、御庄正一、久保田晋一郎
3日	木	大仏さまと子供たち	1952年	蜂の巣プロ	大河内伝次郎、風見章子、飯田蝶子、田中春男
4日	金	しいのみ学園	1955年	新東宝	蜂の巣グループ
7日	月	次郎物語	〃	〃	岩本豊太、宮内義治、中村貞雄
《石田民三監督特集》					
10月8・9日	火・水	花火の街	1937年	J O	小林重四郎、竹久千恵子、深水藤子、原健作
11・14日	金・月	夜の鳩	〃	〃	竹久千恵子、梅園竜子、月形竜之介
15・16日	火・水	花ちりぬ	1938年	東 宝	花井蘭子、堀越節子、三条利喜枝、水上玲子
17・18日	木・金	むかしの歌	1939年	〃	花井蘭子、藤尾純、進藤英太郎
21・22日	月・火	化粧雪	1940年	〃	山田五十鈴、大川平八郎、伊藤薫、藤原釜足
23・24日	水・木	あさぎり軍歌	1943年	〃	坂東好太郎、黒川弥太郎、花井蘭子
25日	金	三尺左五平	1944年	〃	榎本健一、高峰秀子、黒川弥太郎

## 土曜特集：映画史上の名作

\* 開映時間、料金は平常と同じ

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演
8月31日(土)	百万両の壺	日・1935年	山 中 貞 雄	大河内伝次郎、喜代三、沢村国太郎
9月7日(土)	市民ケーン	米・1941年	O. ウエルズ	オーソン・ウエルズ、ジョセフ・コットン
14日(土)	東京物語	日・1953年	小 津 安 二 郎	笠智衆、東山千枝子、原節子、香川京子
21日(土)	ゲームの規則	仏・1939年	J. ルノワール	マルセル・ダリオ、ノラ・グレゴール
28日(土)	花咲く港	日・1943年	木 下 恵 介	小沢栄太郎、上原謙、水戸光子、村瀬幸子
10月5日(土)	野いちご	端・1957年	I. ベルイマン	ヴィクトル・ジュストレム、ビビ・アンデルセン
12日(土)	土	日・1939年	内 田 吐 夢	小杉勇、風見章子、山本嘉一、村田知栄子
19日(土)	尼僧ヨアンナ	波・1960年	J. カワレロウィッチ	ルツィーナ・ヴィンニツカ、ミエチスワフ・ウォイト
26日(土)	五番町夕霧楼	日・1963年	田 坂 具 隆	佐久間良子、河原崎長一郎、木暮実千代

東京国立近代美術館フィルムセンター 中央区京橋3-11 地下鉄・京橋、宝町下車 TEL(561)0823

\* 竹橋本館 9月1日まで「15人の写真家」展

9月14日～11月3日まで「現代メキシコ美術展」

# フランス映画を創った人たち—第1期

1895年12月28日、パリはグラン・カフェの地下室において、世界最初のスクリーンに写し出された動く写真が公開されました。リュミエール兄弟が発明したこのシネマトグラフによって、今世紀最大の芸術「映画」が登場することになったのですが、今回は特にユニークな感覚と表現の創造によって世界を魅了した「フランス映画」に焦点をあて、草創期以来のこれらフランス映画を創った先駆者の人々の作品を作家別にまとめ、数期に分けて公開上映することとなりました。

フランス映画の研究者はもとより、ひろく映画愛好者にとってもまたとない機会でありますので、よろしく御利用御鑑賞下さるようおすすめいたします。

フィルムセンター

1974年1月8日～3月10日

日曜・祝日休館

午後3時・6時15分開映

一般100円・学生70円・小人50円

(注) △印=サイレント \*印=日本語字幕つき ①印=トーキー

期 日	曜 日	題 名	製作年	監 督	出 演		
1月8・9日	水・木	アルコール中毒の犠牲者△	1902	フェルジナン・ゼッカ	ガブリエル・ロバンス		
		ギーズ公の暗殺△	1908	アンドレ・カルメット			
		月世界旅行△	1902	ジョルジュ・メリエス			
		シンデレラ姫△	1912	〃			
		マックスの喜劇△	1910	マックス・ランデ	マックス・ランデ		
		マックスと規那皮△	1910~14	〃	〃		
		ライオン狩△	1912	ルイ・フィヤード	ルネ・ナヴァール、ブレオン、ジョゼット・アンドレヨール		
		ジゴマ△	1911	ヴィクトラン・ジャッセ	アルキリエール、リアベル、シャルル・クロース、オルガ・デミドフ、ジョゼット・アンドリオ		
		10・13日	金・月	鉄路の白薔薇△*	1923	アベル・ガンズ	ゼヴラン・マル、ガブリエル・ド・グラヴォヌ、アイヴィ・クロース、ピエール・マニエ
				ナポレオン(1部)△	1926	〃	アルベル・デュイドンネ、ジナ・マニエ、アナベラ、ニコライ・コリン、アベル・ガンズ
		14・16日	火・木	ナポレオン(2部)△	1926	〃	〃
		21・22日	火・水	楽聖ベートーヴェン△*	1936	〃	アリ・ポール、ジャン・オルト、アニー・デュコー
		23・24日	木・金	エル・ドラド△	1921	マルセル・レルビエ	エブ・フランシス、ジャック・カトラン、マルセル・プラドオ、フィリップ・エリア
		27・28日	月・火	かりそめの幸福△	1934	〃	ギャビー・モーレイ、シャルル・ボアイエ、ジャック・カトラン
29・30日	水・木	スペインの祭△	1919	ジュルメヌ・デュラック	エヴ・フランシス、ガストン・モドオ、ジャン・トゥールー		
		ほほえむブーデ夫人△	1922	〃	アルキリエール、ジュルメヌ・アルモス		
		貝殻と僧侶△	1928	〃	アレク・アラン、バターユ、ジュニカ・アタナジウ		
		狂熱△	1921	ルイ・デリュック	エヴ・フランシス、エドモン・ヴァン・ダエル、エレナ・サグラリ、ガストン・モドオ		
1月31・2月3日	金・月	女優ナナ△	1926	ジャン・ルノワール	カトリーヌ・エスラン、ジャン・アンジェロ、ウエルナー・クラウス		
		4・5日	火・水	ピクニック△*	1936	〃	シルヴィア・バターユ、ジョルジュ・ダルヌー
6・7日	木・金	大いなる幻影△*	1937	〃	ジャン・ギャバン、ルイ・ジュヴェ、シュジー・プリム、ジェニー・アストル、ジャン・オルト		
		10・12日	月・水	裁かるるジャンヌ△	1928	カール・ドライヤー	ジャン・ギャバン、ピエール・フレネー、エリッヒ・フォン・シュトロハイム、ダリオ・デイタ・パーロ
13・14日	木・金	幕間△	1924	ルネ・クレール	ジャン・ボルラン、フランシス・ピカピア、マン・レイ		
		イタリア麦の帽子△	1927	〃	アルベル・プレジャン、オルガ・チェホヴァ、マリーズ・アイア		
17・18日	月・火	塔△	1928	〃	〃		
19・20日	水・木	巴里の屋根の下△*	1930	〃	アルベル・プレジャン、ポーラ・イレリイ、ガストン・モドオ、エドモン・グレヴィル		
21・24日	金・月	自由を我等に△*	1931	〃	レイモン・コルデイ、アンリ・マルシャン、ロラ・フランス、ポール・オリヴィエ		
25・26日	火・水	最後の億万長者△*	1934	〃	マックス・デアリー、ルネ・サン・シール、レエモン・コルディ		
27・28日	木・金	雪崩△	1924	ジャック・フェデー	ジャン・フォレエ、ヴィクトル・ヴィナ、ラシエル・ドヴィリス、アルレット・ペーラン		
3月3・4日	月・火	外人部隊△*	1933	〃	マリー・ベル、ピエール・リジャール・ウィルム、フランソワーズ・ロゼー、アレルム		
		5・6日	水・木	女だけの都△*	1935	〃	フランソワーズ・ロゼー、アンドレ・アレルム、ジャン・ミュラー、ルイ・ジュヴェ
7・10日	金・月	アッシャー家の末裔△	1928	ジャン・エプスタン	ジャン・ドビュクール、マルグリット・ガンズ、シャルル・ラミー		
		パレエ・メカニック△	1923	フェルナン・レジエ	〃		
		三面記事△	1923	クロード・オオタン=ララ	ポール・バルテ、ララ夫人、アントナン・アルトー		
		純粋映画の五分間△	1925	アンリ・ショメット	〃		
		エマクバキア△	1927	マン・レイ	〃		
		可愛いリリー△	1927	アルベル・キャヴァルキャンティ	カトリーヌ・エスラン、ジャン・ルノワール		
		地帯△	1928	ジョルジュ・ラコンブ	〃		
		アンダルシアの犬△	1928	ルイス・ブニュエル	ピエール・バチエフ、シモーヌ・マルーユ、ルイス・ブニュエル		
		ニスについて△	1929	ジャン・ヴィゴ	〃		

## 土曜特集：映画史上の名作

\* 開映時間、料金は平常と同じ

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演	
1月11日(土)	チャップリン短篇集 大酔番頭、スケート、消防夫、道具方	米・1916年	チャールズ・チャップリン	〔牧野周一解説版〕 チャップリン、エドナ・パーヴィアンス、ヘンリー・バーグマン	
18日(土)	雪之丞変化(総集篇)	日・1937年	衣笠貞之助	林長二郎、千早晶子、伏見直江、高堂国典	
25日(土)	醜(スキヤンダル)聞	日・1950年	黒沢 明	三船敏郎、山口淑子、志村喬、千石規子	
2月1日(土)	嘆きの天使	独・1930年	J・V・スタンバーグ	マルレーネ・ディートリッヒ、エミール・ヤニングス	
8日(土)	にごりえ	日・1953年	今 井 正	杉村春子、淡島千景、丹阿弥谷津子、久我美子	
15日(土)	暖流	日・1939年	吉村公三郎	佐分利信、高峰三枝子、水戸光子、徳大寺伸	
22日(土)	赤い風船 パサジェルカ	仏・1955年	アルベル・ラモリス	パスカル・ラモリス	
3月1日(土)	人情紙風船	波・1964年	アンジェイ・ムンク	アンナ・チェピエレフスカ、アレクサンドラ・シュロンスカ	
	8日(土)	戦艦ポチョムキン	日・1937年	山 中 貞 雄	河原崎長十郎、中村翫右衛門、霧立のぼる
		ソ・1925年	S・エイゼンシュティン	アー・アントーノフ、グリゴリー・アレクサンドロフ	

東京国立近代美術館フィルムセンター

中央区京橋3-11

地下鉄・京橋、宝町下車

TEL (561) 0823

\* 竹橋本館 1月12日まで「第9回東京国際版画ビエンナーレ展」

1月16日～2月2日まで「平常陳列—近代日本の美術」

2月8日～3月16日まで「福田平八郎遺作展」

# ハンガリー映画の30年

当フィルムセンターでは、毎年の行事の一環として海外諸国の協力を得ての外国映画祭を実施し、映画による国際文化交流の一翼を担ってきました。

昭和49年度は、解放30周年を迎えるハンガリー人民共和国の協力により、建国記念の意義をあわせて、同国の映画が世界の映画芸術の進展に大きく寄与したその実証たる主要作品を招来し、下記日程により特集上映を開催することとなりました。

ハンガリー映画は、これまでわが国ではほとんど紹介される機会に恵まれませんでしたが、同国は戦前アレクサンダー・コルダ、マイケル・カーティス、パウル・フェヨシュ、ラヨシュ・ピロなどの国際的映画人を生み出し、その外国における活躍ぶりは映画史に残るものがあります。今回上映される作品は、それらすぐれた映画作家の人脈を継承した同国の代表的作家の手になるもので、建国30年のハンガリー映画を展望する上に大きな役割を果たすものと確信いたす次第です。ひろく映画愛好者の御鑑賞をおすすめします。

## フィルムセンター

1975年3月13日～3月28日

日曜・祝日休館

午後3時・6時15分開映

一般100円・学生70円・小人50円

(注) \*印=日本語字幕つき △印=英語字幕つき □印=字幕スーパーなし C=カラー作品

期 日	曜 日	題 題	名 名	製作年	監 督	備 考
3月13日	木	ヨーロッパの何処かで	*	1948	ゲーザ・ラドヴァニユイ	戦災孤児たちの自由への目覚めを描く戦後ハンガリー映画の世界的初の秀作。
14日	金	メリー・ゴーン・ラウンド	*	1956	ゾールタン・ファーブリ	美しい農村の祭りを背景に描く愛の叙情詩。
17日	月	ハンニバル教授	□	1956	ゾールタン・ファーブリ	ファッショ的思潮の恐怖を描く秀作。カルロヴィ・ヴァリ映画祭第1賞。
18日	火	しかめ面	△	1965	フェレンツ・カルドーシュ ヤーノシュ・ロージャ	6歳の子供が社会と人間を知りはじめる。チュニジア映画祭受賞作。
19日	水	一万の太陽	*	1965	フェレンツ・コーシャ	ハンガリー農村の階級斗争を描く。カンヌ映画祭監督賞、同青少年映画賞、ハンガリー映画批評家賞。
20日	木	父	△	1966	イシュトヴァーン・サボー	少年が父を通じて見た戦中・戦後史。モスクワ映画祭グランプリ、アカプルコ・ロカルノ各映画祭受賞。
24日	月	つめたい日々	△	1966	アンドラーシュ・コヴァーチ	戦時中残酷な行為に加担した4人の苦悩。カルロヴィ・ヴァリ映画祭第2賞、同国際映画批評家協会賞、ハンガリー映画批評家賞。
25日	火	丘の上の夏	*	1967	ペーテル・バチョー	現代の世代の断層を見つめる力作。
26日	水	赤い聖歌	C△	1972	ミクローシュ・ヤンチョー	19世紀の農民蜂起とその鎮圧を独自の芸術的手法で描く。カンヌ映画祭監督賞。
27日	木	雪が降る	C△	1974	フェレンツ・コーシャ	深沢七郎作「楢山節考」に触発された異色作。
28日	金	《アニメーション映画特集》 コンセルテイシモ ドラゴン 情熱 太陽と月の誘拐 「グスタフ」シリーズ			ヨーゼフ・ギーメシュ シュメニユイ・アンドラス ヨーゼフ・ナップ シャンドール・レイゼンブッフレル	

※ 開映後の入場は御遠慮下さい。

## 土曜特集：映画史上の名作

\*開映時間、料金は平常と同じ

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演 者
3月15日(土)	居酒屋	仏・1956年	ルネ・クレマン	マリア・シェル、フランソワ・ペリエ
29日(土)	会議は踊る	独・1931年	エリック・シャレル	リリアン・ハーヴェイ、コンラート・ファイト